一日も早い日常を願って

依頼者の期待と信頼に応え、難局乗り越えよう！

茨城県行政書士会
会長　國井　豊

鬱陶しい梅雨が続いております。本来なら梅雨明け宣言を心待ちにしながら、夏本番到来を楽しみにするところですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあって季節の移ろいを感じられません。皆さん、今春の桜の開花はご記憶にありますか。東日本大震災によって被災した際、多くの方々から異口同音に、「桜の満開に気づかなかった」「桜をみても気分が乗らない」等々、心の持ちようの大切さを聞かされた記憶が蘇りました。景気の気は、気持ちや気分の気と同じ論理です。自らの身は自らがしっかり守り、感染拡大防止に努め一日も早く日常に戻ることを願うばかりです。皆さん、健康にはくれぐれもご留意ください。

前号でお伝えいたしましたように、きわめて例外的な形ではありますが無事総会を終了することができました。ご協力いただきました皆さんに、この場をお借りし感謝御礼申し上げます。業務執行にあたっては、非常時下との認識を忘れることなく丁寧な説明責任のもと、展開してまいります。さらなるご理解ご協力をお願いいたします。

一方、持続化給付金をはじめとするコロナ関連の経済支援策が具体的に動き出したことと合わせ、本会におきましても様々な活動をスタートさせました。水戸市からの業務受託は他の自治体へと拡がりをみせ、現在10市町村から業務を受託しそれぞれの住民や企業の皆さんの期待と信頼に応えております。電話相談も活発に展開中です。まさに桜の花ならぬ、行政書士コスモス全開の様相といえます。その中でも特に、持続化給付金については相談のみにとどまらず、環境が整っていることを前提にその場での申請までお手伝いするなど、相談員の皆さんが臨機応変な対応をして下さっています。

それらの帰結として、行政はもとより多くの相談者の皆さんから喜びと謝意が寄せられており、これまでの歩みの確かさを再確認することもできました。また、一部自治体には社会保険労務士兼業の会員を派遣し、雇用調整助成金等々の社労士業務についても対応可能な体制を敷いております。行政書士会の相談窓口での社労士業務相談対応は、職域を考えればイメージしにくいことかもしれません。しかし固定観念、既成概念、経験則を捨て去り、社労士会のご理解や兼業者の惜しみないご協力によって、実現の運びとなったのです。こうした士業間連携は、ワンストップサービスを掲げる士業全体にきわめて有益であり、今後も様々な場面で求められることでしょう。関係するすべての皆さんに心から敬意と感謝を申し上げます。

今回の業務受託によって県内津々浦々、地域社会にしっかりと根差すことでつねに人や企業に寄り添い、最も身近な街の法律家と親しまれる行政書士の真価を発揮することができました。国民がより期待しさらに信頼する制度へと発展させるため、これからも、会員の皆さん一人ひとりが業務展開しやすい環境づくりに邁進してまいりたいと思います。活発なご意見ご提言を期待しております。コロナ禍は戦後最大の危機と位置付けられることからも、長丁場になるかもしれません。歴史と伝統、長きにわたり積み上げてきた英知と経験を結集し、明るい未来を信じて共にこの災禍を乗り越えましょう！

向暑の砌、ご自愛ご健康をお祈りいたします。

引き続きコロナ禍に全力対応

茨城県行政書士会においても会員が一丸となって、全力で取り組んでおります！

新型コロナウイルスの影響を受けた県内事業者を支援すべく、本会では、７月15日現在、以下の会場において相談窓口を設置させていただいております。詳しくは、事務局または本会ホームページにてご確認下さい。

水戸市	対面相談窓口	令和２年４月22日～
つくばみらい市	対面相談窓口	令和２年５月13日～
境　町	対面相談窓口	令和２年５月15日～
潮来市	対面相談窓口	令和２年５月28日～
稲敷市	対面相談窓口	令和２年６月 ２日～
筑西市	対面相談窓口	令和２年６月 ３日～
常総市	対面相談窓口	令和２年６月 ９日～
高萩市	対面相談窓口	令和２年６月11日～
美浦村	対面相談窓口	令和２年６月11日～
行方市	対面相談窓口	令和２年７月15日～

商工業者を支援
行政書士相談会
筑西市、毎週水曜日

筑西市は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う商工業者支援として、市内の事業主に対する行政書士の無料相談会を、同市内のスピカ庁舎で開く。期間は3日から8月26日までの毎週水曜日。持続化給付金の申請などをスムーズに進められるよう、適切な助言を行うのが狙い。

行政書士2人が開催日の午後1～5時の間、1人30分～1時間の相談を受ける。市商工振興課に事前の申し込みが必要。同市商工振興課☎0296(54)7011。

茨城新聞
令和２年６月１日

持続化給付金 申請支援
行政書士が対応
潮来市と商工会

国の持続化給付金の電子申請を手助けしようと、潮来市と市商工会は28日から3日間、同市潮来の市商工会相談室で電子申請サポート事業を行う。

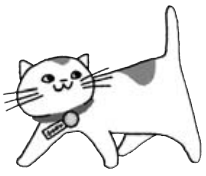
同事業は、国が設置するサポート会場が鹿行地域にはまだないことから企画された。

相談はインターネット環境がなかった1、電子申請が苦手な市内の事業者に向けたもので、相談は行政書士が受ける。時間は1社当たり1時間程度としており、完全予約制。希望者は市観光商工課に申し込む。

問い合わせは同課☎0299(63)1111。

茨城新聞
令和２年５月27日

行政書士による経営相談の様子



行政書士の無料相談窓口を開設
筑西市

筑西市は3日、新型コロナウイルス感染症に係る無料経営相談窓口を開設する。開設期間は3日から8月26日までの毎週水曜日、午後1時から5時までとなる。対象は、市内で事業を営む中小企業者・個人事業主となり、相談は予約制で、希望者は商工振興課まで申し込むこと。

経営相談は県行政書士会の協力を受け、毎回行政書士2人が担当し、持続化給付金などの申請に関する相談や助言などを行う。相談時間は1者あたり30分から1時間程度とし、毎週8人程度を見込んでいる。窓口の開設場所は市役所本庁舎の2－4階会議室。開催日によって違うので注意すること。

申し込み先や問い合わせは経済部商工振興課（電話0296－54－7011）まで。

日刊建設新聞　令和２年６月３日